

2016.11.10

歴史リレー講座 第25回特別記念講演・シンポジウム『聖徳太子のこころ』を開催しました！

毎月1回行っている歴史リレー講座「大和の古都はじめ」。

平成28年10月で25回目を迎えたことを記念し、11月3日（木・祝）、王寺町文化福祉センターの大ホールにて「25回特別記念講演・シンポジウム『聖徳太子のこころ』」を開催しました。県内外から約650名もの方々が参加されました。



基調講演「政治家としての聖徳太子」では、スペシャルゲストとしてお招きしたマンガ家の里中満智子氏から、政治家としての聖徳太子は、憲法や冠位など国の制度を整えたことに最大の功績があったとの話があり、蘇我氏との調整などにもずいぶん苦勞されただろうと僂んでおられました。先生のお話しぶりはとてもやわらかく、まるで物語を聞いているようで、マンガの絵が目浮かんでくるようでもありました。



シンポジウム「私たちの心に生きる聖徳太子」では、コーディネーターの石井久恵氏（㈱KADOKAWA）、パネリストの里中満智子氏、千田稔氏（奈良県立図書情報館長）、岡本彰夫氏（奈良県立大学客員教授）、岡島永昌氏（王寺町教育委員会学芸員）から、法隆寺の西院伽藍が聖徳太子の^{こうきよ}薨去後に太子を偲んで建てられたことや、太子と神道との関係、また地域に伝えられてきた太子伝承などについて議論が交わされ、聖徳太子の偉大さをはじめ、地域と聖徳太子の関わりの深さを知ることができました。



このようなスペシャルな講演に、参加者の方々は喜ばれておられました。

文化的でもある王寺町として、すばらしい日になりました。

